

政務活動報告書

令和6年11月12日

〔会派名： 清風クラブ 〕

代表者氏名	常俊 朋子	記録者氏名	小林 勝
活動者氏名	福田博行、常俊朋子、坂本直司、小林勝		
活動日	令和6年7月25日（木）～令和6年7月25日（水）		
活動先	奈良県御所市1番地の3 御所市役所		
活動目的	重要伝統的建造物保存地区の認証を目指しながら分散型宿泊施設の整備を行うなど御所市の事例を名張市の空き家対策や観光振興の参考にする。		
概要 御所市は名張市の旧市街地同様に、江戸時代から変わらない町割りが残されており、細い路地や水路（背割下水）など町の形だけでなく、江戸中期の古い建物なども現存しているとのこと。またそれらの保存修復にかかるコストを担保するため令和9年度に重要伝統的建造物保存地区の認証を受けることを目指している。こうした取り組みは市単体では難しく、制度面と資金面での国や県の補助の重要性であることを学んだ。 また分散型宿泊施設の計画から実行について、その経緯や過程での苦労などの実体験を聞き、ひとつだけ残る銭湯の今後が課題の本市とオーバーラップさせ、銭湯を活用する場合の番台の在り方など、様々なケースを問い、分散型宿泊施設のメリットやデメリットなどを学んだ。 その他、分散型宿泊施設の企画実行についての体制づくり（株式会社御所まちづくり）やGOSE SENTO HOTEL プロジェクトの経緯と成果（銭湯だけで年間4万人の利用）、三軒長屋を活用した古民家再生住宅事業「スムナラ」に「RITA 御所町」など関連する様々な企画や制度をご紹介頂き、超中期的・多面的・複合的な計画と実行が重要であることを再認識した。			

